



🎒 第1学年 学年末評価範囲表 🎒

日	限	教科	範囲	提出物・ポイントなど
2 月 21 日 (月)	1 限	理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P 1～224 ・ワーク P 1～121 ・学習ノートP 1～64 (ただし、地層の部分はふくみません) ・カラープリント 1～17 <p>＊作図のために定規が必要です。</p> <p>○学年末評価ということで、 「1、2学期の学習範囲（初め～光）」、 「3学期の学習範囲（音～地震）」に ついて半々の割合で出題する予定です。</p>	<p>【提出物】21日（月）まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク（学習ノートの方を提出） ・カラープリント13～17 丸付け、直しをしっかりとする ＊複数回チャレンジすればするほど、 問題を解く力が身に付くはずです。 <p>【ポイント】</p> <p>1・2学期の定期評価で出題したものの中から、 いくつか選んでもう一度出題します。しっかり 見直しをしておきましょう。</p> <p>☆実験器具の基礎操作の確認。</p> <p>☆グラフのかき方の確認。</p> <p>☆光や力の作図の確認。</p> <p>☆質量パーセント濃度、溶解度と再結晶、密度などについての 計算練習。</p> <p>☆P波やS波の伝わる速さを求める計算練習。</p> <p>☆初期微動継続時間から、震源距離を求める計算練習。</p>
	2 限	数 学	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P153～P220 ・ワーク P96～P131 ・章のチェックプラス P10～P13 ・カラプリ 10～13 <p>【持ち物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定規（三角定規または直定規） ・コンパス <p>※分度器は使用できません。</p>	<p>【提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク ・章のチェックプラス ・カラプリ <p>提出締切：2/21日（月）</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ問題でも何度も繰り返し解き、解き方・考え方を理解すること。 ・作図をできるようにすること。
		技 術	<p>○教科書 P71、72上、75、77 P78、90、91</p> <p>○授業で使ったプリント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作中心の出題をします。プリントなどを見直しておく ・木工作品、木工作品レポートは必ず提出すること。
	3 限	家 庭	<p>○教科書 p78、79 p82、83、p90～101 p186～187</p> <p>○ハンドノート p40～41、p44～49 p100、101</p> <p>○授業中に配布したワークシート</p>	<p>【提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドノート（ワークの該当ページに、<u>ふせんをつけてください。</u>） ・授業ノート <p>＊授業中にチェックします。指定の日まで仕上げておくこと。</p>



日	限	教科	範囲	提出物・ポイントなど
2 月 22 日 (火)	1 限	国 語	<p>○教科書 p126～143、p150、151 p170～174、p188、189、 p224～226、p242～246</p> <p>『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ「大阿蘇」 「漢文の基礎知識」「矛盾」「故事成語」 「漢字に親しもう 4」「文法 文の組み立て」 「表現技法」「月の異名」</p> <p>☆国語の学習 p78～94、 p107～114、 p126～131、p154</p> <p>☆漢字練習ノート p58～79 (p68～71 は除く)</p> <p>☆カラプリ 10、12、14</p>	<p>【提出物】 <u>最終×切 テストの日</u></p> <p>☆未、再提出のワーク、カラプリ</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートやプリント、ワークやカラプリの解説等をよく読み、理解しておこう。 ・問いに対する答え方に注意しよう。 (例)「なぜ？」→「～から。」 「どういうこと？」→「～こと。」等 ・漢字や月の異名は何度も書いて覚えよう。 ・訓読文⇄書き下し文、故事成語の意味を理解しておこう。 ・文法は何度も何度も問題を解いて、文の成分が正しく答えられるように理解しておこう。 ・表現技法を使って、主語・述語の整った文が作れるようにしておこう。
	2 限	社 会	<p>【地理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P84～117 ・資料集 P74～95 ・自主学習 P50～65 <p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P60～75 ・資料集 P50～69 ・自主学習 P28～35 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州、南北アメリカ州の自然・産業・人々の暮らしについて理解しておく。 ・武士の成長の様子、鎌倉幕府のしくみ、蒙古襲来の様子などについて自主学習などを使って理解しておく。 ・2月実力テストの試験範囲内の問題の中から、同様の問題を出題。 <p>【提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・地理の自主学習ノートを係に提出。 ・自主学習の範囲について不明な点は質問に来てください。係は2/22(火)の放課後までに出席番号順に並べて教室後ろに置いておく。
	3 限	美 術	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩について 教科書 p76～78 資料集 p4～5 ・レタリング 教科書 p66、資料集 p64 ・アクリルガッシュの使い方 ・受け継がれる日本の美 教科書 p30～37 ・実技あり 定規・コンパス・色鉛筆準備 	<p>今までのテストをしっかり復習しよう。</p> 

日	限	教科	範囲	提出物・ポイントなど
2 月 24 日 (木)	1 限	英 語	<p>○教科書 Unit 10 まで ～P107</p> <p>○ジョイフルワーク ～P117 (ただし、P105、108、109 除く)</p> <p>○語順トレーニング ～P26</p> <p>○授業、課題等で使ったプリント (カラープリント含む)</p>	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形、<u>want to</u> 等の表現、現在進行形、代名詞を中心にしっかりと理解しておく。 ・その他、1年間で学習したことを全て復習しておく。 <p>【提出物】 ジョイフルワーク ★丸付け・直しのないものは不可</p> <p>ワークは全クラス、<u>テスト当日</u>に提出</p>
	2 限	保 体	<p>【保健分野】 教科書 P34～45 保体ノート P18～33、40 の 1、2</p> <p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道 実技書 P252～266 保体ノート P88、89 ・バスケットボール 実技書 P108～129 保体ノート P64～67 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、実技書をよく読む。 ・保体ノートの要点の整理、仕上げの問題等をやる。 ・各競技の用語、技の名称、コート of 名称、ルール、歴史等を確認しておく。 <p>【提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保体ノート (範囲になっているところをやって提出) <p><u>テスト当日</u> 提出</p>
	3 限	音 楽	<p><u>教科書</u> 「Let's Search For Tomorrow」 P34～37 「雅楽」P52～55 「箏曲 六段の調」P56～57 「日本の民謡」P58～63 アルトリコーダーの運指 校歌の歌詞</p> <p><u>器楽教科書</u> 「箏」P40～43、47 「三味線」P50～55 「尺八」P66～68</p> <p><u>ワーク（音楽のキャンパス）</u> P7、10、11、12 24～29、40～48</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と、配布プリント、教科書・ワークの該当部分をしっかりと復習しておくこと。 ・聴き取り問題あります。 <p><u>提出物：音楽のキャンパス（ワーク）</u></p> 

失敗したところでやめてしまうから失敗になる

成功するところまで続ければ、成功になる

b y 松下 幸之助